

## 健診受診者に 動画で 健康情報を提供

(社福) 聖隷福祉事業団保健事業部

新型コロナウイルス感染症の拡大は、健診機関が実施する人間ドックや健診、保健指導等にも影響を与えている。感染拡大時には利用者数の制限や一部検査の中止、対面での保健指導の中止等を余儀なくされた健診機関も多く、そうした状況が長引けば、健診受診者の健康づくりが停滞することにもなりかねない。

そうしたなか、(社福) 聖隷福祉事業団(静岡県浜松市)では、コロナ禍においても健診受診者の健康づくりをサポートするため、新たなサービスを開始した。具体的には、人間ドックや健診の受診者に、その結果に応じた健康情報を、動画で提供するというものだ。同法人が運営する4カ所の健診機関において、2020年10月から導入している。

動画は、「BMI」「血圧」「血糖」などをテーマに10種類あり(表1)、健診受診者が自身の結果表に記載

※【 】内は講話担当

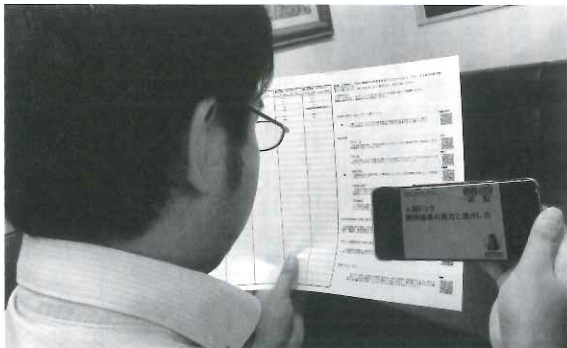
表1 動画の内容

1	BMIについて【管理栄養士】
2	血圧が高めの方へ【保健師】
3	血糖値が高めの方へ【保健師】
4	脂質代謝の数値が高めの方へ【保健師】
5	肝機能の数値が高めの方へ【管理栄養士】
6	喫煙されている方へ【保健師】
7	特定保健指導の対象となった方へ【管理栄養士】
8	労災保険二次健康診断等給付の対象となった方へ【保健師】
9	結果の見方と活かし方(定期健康診断編)【保健師】
10	結果の見方と活かし方(人間ドック編)【保健師】

された2次元コードをスマートフォンで読み込むと再生される。動画はすべて3分程度で、保健師や管理栄養士が各検査値の示すリスクや改善方法を解説。たとえば、血糖値に関する動画では、保健師が数値の意味や血糖値が上がる仕組み、将来おこりうる合併症のリスクや血糖値を上げない生活習慣などをわかりやすく伝えている。結果表にも工夫を凝らし、注意が必要な項目には受診者ごとのリスクを反映した星印(無印〜星3つまでの4段階)を付け、リスクに関連した動画の視聴を促す。

こうしたアプローチにより、健診を受けっぱなしにせず、自身の結果を理解し、生活習慣の改善に活かしてもらうことがねらいだ。

同サービスは、健康保険組合等の重症化予防施策や特定保健指導の利用促進、あるいは企業の再検査の受診促進等にも資する取り組みとして期待される。とくに新型コロナウイルス感染症は糖尿病等の基礎疾患のある人ほど重症化リスクの高い可能性が指摘されており、コロナ禍において日ごろの健康づくりの重要性はより高まっている。健康意識が高まりやすい健診受診の機会を逃さず、より多くの人に健康情報を提供する仕組みとして注目が集まりそうだ。



人間ドックや健診の結果表に記載された2次元コードを読み込むと、専門職による解説動画を無料で閲覧できる。